

---

**ADVANTEST®**

株式会社アドバンテスト

---

TQ8111

白色光源

取扱説明書

MANUAL NUMBER FOJ-8324185E00

---



発行日 : 2003年2月3日

Customer Notice No. : FEJ-8440082A00

## ACアダプタ標準添付廃止について

この度、当社製品をより安全にご使用いただくため、ACアダプタ（3ピン→2ピン変換アダプタ）の製品への標準添付を廃止いたします。  
従来、日本国内では、3ピンの電源コンセントが少なかったため、電源ケーブルにACアダプタを添付してきましたが、下記理由により、この度の標準添付廃止となりました。

- 当社製品は、筐体（ケース）を接地することにより、お客様が安全に使用できるよう設計されています。
- 日本国内、特に商工業地域での電源コンセントの3ピン化が進んでいます。

当社製品を安全にご使用いただくため、電源ケーブルは、保護接地を備えた3ピン電源コンセントに接続して下さい。

### ●取扱説明書のACアダプタに関する記載

取扱説明書の標準付属品、あるいは電源ケーブルの項にACアダプタが付属品として記載されていますが、上記により付属しておりません。

### ●筐体接地の必要性

当社の製品は、必ず筐体（ケース）を接地して使用するよう設計されています。筐体を接地しないと、浮遊インピーダンス、または、電源ノイズ・フィルタの回路構成により、筐体が比較的高い電位になることがあります（図1）。これにより、**感電、被測定物の破壊、製品に接続される機器の故障**を招く恐れがあります。これらの事故を防ぐため、以下の注意を守って下さい。

#### 注意

1. 筐体を接地するため、電源ケーブルは、保護接地を備えた3ピン電源コンセントに接続して下さい。
2. 当社製品に接続する機器も、筐体を接地して下さい。

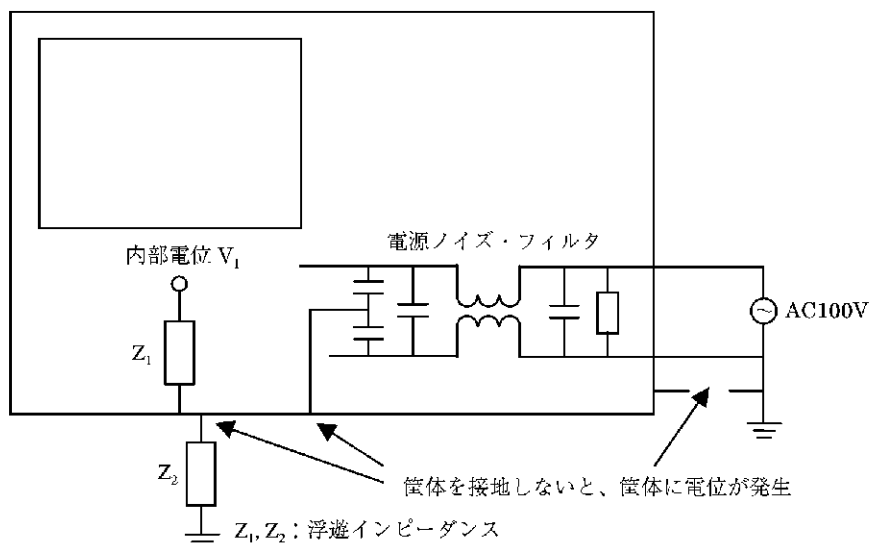


図1 筐体設置の必要性



# マニュアル・チェンジ

**ADVANTEST®**

株式会社 アドバンテスト

発行日	2002年1月15日	適用マニュアル No.	FOJ-8324185D01 - E00
マニュアル名	TQ8111 取扱説明書	マニュアル・チェンジ No.	JMC-01

本取扱説明書に以下の内容を追加しましたので、訂正してお読み下さるようお願い申し上げます。

## 校正について

校正作業は当社への引上げ作業となります。  
本器の校正については、当社または代理店へお問い合わせ下さい。

推奨校正期間
--------

1年
----



## 本器を安全に取り扱うための注意事項

本器の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読み下さい。また、本器の誤った使用、不適切な使用等に起因する運用結果につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。

本器の操作・保守等の作業を行う場合、誤った方法で使用すると本器の保護機能がそこなわれることがあります。常に安全に心がけてご使用頂くようお願い致します。

### ■危険警告ラベル

アドバンテストの製品には、特有の危険が存在する場所に危険警告ラベルが貼られています。取り扱いには十分注意して下さい。また、これらのラベルを破いたり、傷つけたりしないで下さい。また、日本国内で製品を購入し海外で使用する場合は、必要に応じて英語版の危険警告ラベルをお貼り下さい。危険警告ラベルについてのお問い合わせは、当社の最寄りの営業所までお願いします。所在地および電話番号は巻末に記載してあります。

危険警告ラベルのシグナル・ワードとその定義は、以下のとおりです。

- 危険： 死または重度の障害が差し迫っている。
- 警告： 死または重度の障害が起こる可能性がある。
- 注意： 軽度の人身障害あるいは物損が起こる可能性がある。

### ■基本的注意事項

火災、火傷、感電、怪我などの防止のため、以下の注意事項をお守り下さい。

- 電源電圧に応じた電源ケーブルを使用して下さい。ただし、海外で使用する場合は、それぞれの国の安全規格に適合した電源ケーブルを使用して下さい。また、電源ケーブルの上には重いものをのせないで下さい。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、電源スイッチを OFF にしてから奥までしっかり差し込んで下さい。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを OFF にしてから、電源ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いて下さい。このとき、濡れた手で抜かないで下さい。
- 電源投入前に、本器の電源電圧が供給電源電圧と一致していることを確認して下さい。
- 電源ケーブルは、保護導体端子を備えた電源コンセントに接続して下さい。保護導体端子を備えていない延長コードを使用すると、保護接地が無効になります。
- 3ピン-2ピン変換アダプタ（弊社の製品には添付していません）を使用する場合は、アダプタから出ている接地ピンをコンセントのアース端子に接続し、大地接地して下さい。また、アダプタの接地ピンの短絡に注意して下さい。
- 電源電圧に適合した規格のヒューズを使用して下さい。
- ケースを開けたままで本器を使用しないで下さい。

## 本器を安全に取り扱うための注意事項

- 規定の周囲環境で本器を使用して下さい。
- 製品の上に物をのせたり、製品の上から力を加えたりしないで下さい。また、花瓶や薬品などの液体の入った容器を製品のそばに置かないで下さい。
- 通気孔のある製品については、通気孔に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないで下さい。
- 台車に載せて使用する場合は、ベルト等によって落下防止を行って下さい。
- 周辺機器を接続する場合は、本器の電源を切ってから接続して下さい。





### ■取扱説明書中の注意表記

取扱説明書中で使用している注意事項に関するシグナル・ワードとその定義は以下のとおりです。

- 危険： 重度の人身障害（死亡や重傷）の恐れがある注意事項  
警告： 人身の安全／健康に関する注意事項  
注意： 製品／設備の損傷に関する注意事項または使用上の制限事項

### ■製品上の安全マーク

アドバンテストの製品には、以下の安全マークが付いています。

- ： 取扱い注意を示しています。人体および製品を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場所に付いています。
- ： アース記号を示しています。感電防止のため機器を使用する前に、接地が必要なフィールド・ワイヤリング端子を示しています。
- ： 高電圧危険を示しています。1000V 以上の電圧が人力または出力される場所に付いています。
- ： 感電注意を示しています。

### ■寿命部品の交換について

計測器に使用されている主な寿命部品は以下のとおりです。  
製品の性能、機能を維持するために、寿命を目安に早めに交換して下さい。  
ただし、製品の使用環境、使用頻度および保存環境により記載の寿命より交換時期が早くなる場合がありますので、ご了承下さい。  
なお、ユーザによる交換はできません。交換が必要な場合は、当社または代理店へご連絡下さい。

製品ごとに個別の寿命部品を使用している場合があります。  
本書、寿命部品に関する記載項を参照して下さい。



主な寿命部品と寿命

部品名称	寿命
ユニット電源	5年
ファン・モータ	5年
電解コンデンサ	5年
液晶ディスプレイ	6年
液晶ディスプレイ用バックライト	2.5年
フロッピー・ディスク・ドライブ	5年
メモリ・バックアップ用電池	5年

■ハード・ディスク搭載製品について

使用上の留意事項を以下に示します。

- 本器は、電源が入った状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えないで下さい。  
ハード・ディスクの内部は、情報を記録するディスクが高速に回転しながら、情報の読み書きを行っているため、非常にデリケートです。
- 本器は、以下の条件に合う場所で使用および保管をして下さい。  
 極端な温度変化のない場所  
 衝撃や振動のない場所  
 湿気や埃・粉塵の少ない場所  
 磁石や強い磁界の発生する装置から離れた場所
- 重要なデータは、必ずバックアップを取っておいて下さい。  
 取扱方法によっては、ディスク内のデータが破壊される場合があります。また、使用条件によりますが、ハード・ディスクには、その構造上、寿命があります。  
 なお、消失したデータ等の保証は、いたしかねますのでご了承下さい。

■本器の廃棄時の注意

製品を廃棄する場合、有害物質は、その国の法律に従って適正に処理して下さい。

- 有害物質： (1) PCB (ポリ塩化ビフェニール)  
 (2) 水銀  
 (3) Ni-Cd (ニッケル-カドミウム)  
 (4) その他

シアン、有機リン、六価クロムを有する物およびカドミウム、鉛、砒素を溶出する恐れのある物（半田付けの鉛は除く）

例： 蛍光管、バッテリー

■使用環境

本器は、以下の条件に合う場所に設置して下さい。

- 腐食性ガスの発生しない場所
- 直射日光の当たらない場所
- 埃の少ない場所
- 振動のない場所
- 最大高度 2000 m

本器を安全に取り扱うための注意事項

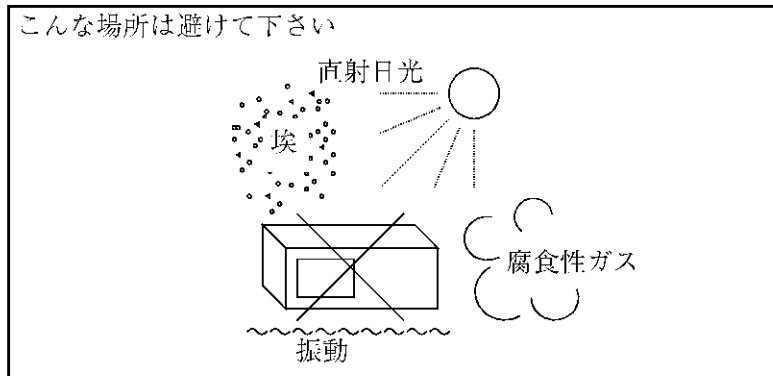


図-1 使用環境

●設置姿勢

本器は、必ず水平状態で使用して下さい。  
本器は内部温度上昇をおさえるため、強制空冷用のファンを搭載しております。  
ファンの吐き出し口、通気孔をふさがらないで下さい。

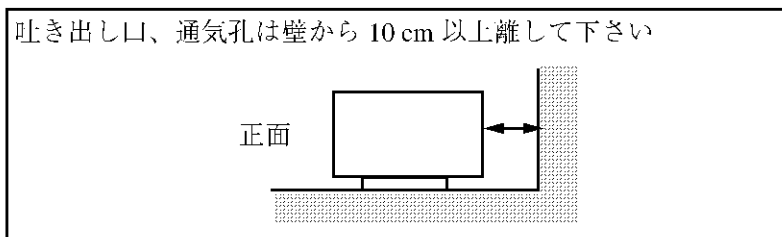


図-2 設置

●保管姿勢

本器は、なるべく水平状態で保管して下さい。  
本器を立てた状態で保管する場合、または運搬時、一時的に立てた状態で置く場合、  
転倒しないよう注意して下さい。衝撃・振動により転倒する恐れがあります。

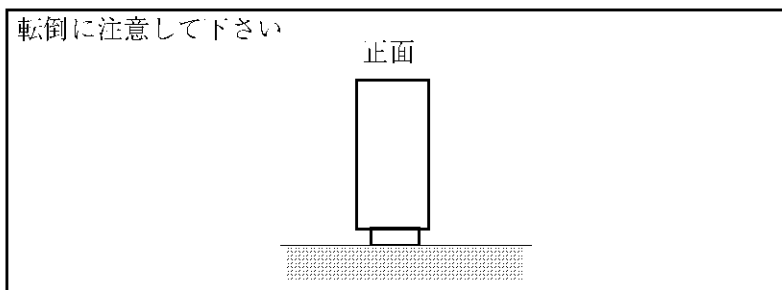
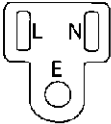
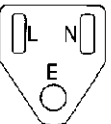
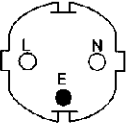


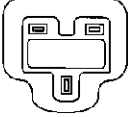
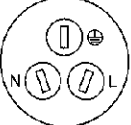


図-3 保管

- IEC61010-1 で定義される、主電源に典型的に存在する過渡過電圧および汚染度の分類は、以下のとおりです。  
IEC60364-4-443 の耐インパルス（過電圧）カテゴリ II  
汚染度 2

■電源ケーブルの種類

「電源ケーブルの種類」の記述が本文中にある場合には、以下の表に置き替えてお読み下さい。

プラグ	適用規格	定格・色・長さ	型名 (オプション No.)
	PSE: 日本 電気用品安全法	125V/7A 黒、2m	ストレート・タイプ A01402 アングル・タイプ A01412
	UL: アメリカ CSA: カナダ	125V/7A 黒、2m	ストレート・タイプ A01403 (オプション 95) アングル・タイプ A01413
	CEE: ヨーロッパ DEMKO: デンマーク NEMKO: ノルウェー VDE: ドイツ KEMA: オランダ CEBEC: ベルギー OVE: オーストリア FIMKO: フィンランド SEMKO: スウェーデン	250V/6A 灰、2m	ストレート・タイプ A01404 (オプション 96) アングル・タイプ A01414
	SEV: スイス	250V/6A 灰、2m	ストレート・タイプ A01405 (オプション 97) アングル・タイプ A01415
	SAA: オーストラリア ニュージーランド	250V/6A 灰、2m	ストレート・タイプ A01406 (オプション 98) アングル・タイプ ---
	BS: イギリス	250V/6A 黒、2m	ストレート・タイプ A01407 (オプション 99) アングル・タイプ A01417
	CCC: 中国	250V/10A 黒、2m	ストレート・タイプ A114009 (オプション 94) アングル・タイプ A114109



TQ8111  
白色光源  
取扱説明書

関連マニュアル一覧表

関連マニュアル一覧表

番 号	名 称	備 考
	TQ8345光スペクトラム・アナライザ取扱説明書	



## 目次

<b>1. 概説</b>	
1.1 TQ8111製品概要	1 - 1
1.2 使用開始の前に	1 - 2
1.2.1 概観チェック	1 - 2
1.2.2 電源とヒューズ	1 - 3
1.2.3 ヒューズの交換	1 - 4
1.2.4 ハロゲン・ランプの交換	1 - 5
1.3 使用前の準備および注意事項	1 - 7
<b>2. 動作原理</b>	
2.1 動作原理	2 - 1
2.2 ブロック図	2 - 1
<b>3. 操作方法</b>	
3.1 パネル面の説明	3 - 1
3.1.1 フロント・パネル	3 - 1
3.1.2 リア・パネル	3 - 1
3.1.3 試料室	3 - 2
3.2 使用法	3 - 3
3.3 試料室の使い方	3 - 3
<b>4. 修理を依頼される前に</b>	4 - 1
<b>5. 性能諸元</b>	5 - 1





## 目 次

図番号	名 称	ページ
1 - 1	電源ケーブルのプラグとアダプタ	1 - 3
1 - 2	ヒューズの交換と電圧設定カード	1 - 4
1 - 3	ランプの交換	1 - 6
1 - 4	ホルダの脱着	1 - 7
2 - 1	TQ8111動作ブロック図	2 - 1
3 - 1	TQ8111フロント・パネル	3 - 1
3 - 2	TQ8111リア・パネル	3 - 1
3 - 3	TQ8111上面図	3 - 2
3 - 4	試料室の内部	3 - 2
3 - 5	試料室の使い方	3 - 3
3 - 6	ピンホール板とホルダ	3 - 4



T Q 8 1 1 1

白色光源  
取扱説明書

表一覽

表一覽

表番号	名 称	ページ
1 - 1	標準付属品	1 - 2
1 - 2	電源ヒューズの規格	1 - 4



## 1. 概説

### 1.1 TQ8111製品概要

TQ8111は、光スペクトラム・アナライザと併用して、光デバイスや光ファイバの損失波長特性測定を行なう白色光源です。

高出力ハロゲン・ランプを使用し、APC回路(Automatic Power Control)によって、出力レベルの安定した光出力が得られます。

#### 特徴

- ① 特に、TQ8111は出力を2系統持っています。  
チャンネル1はハロゲン・ランプから光ファイバを通り、ダイレクトに出力されます。  
チャンネル2 (Chamber Out) は内蔵の試料室を通り、コリメータで集光され出力されま  
す。
- ② 試料室を使うことで光学フィルタなど光学部品の損失波長特性を容易に測定できます。
- ③ 試料室用に光学部品ホルダを用意しており、容易に光学部品をセットできます。
- ④ 光スペクトラム・アナライザTQ8345との組合せるとGIファイバ(50/125 NA0.2)系にお  
いて0.8  $\mu\text{m}$  ~1.6  $\mu\text{m}$  の波長域で約30dBの広ダイナミック損失波長特性測定ができま  
す。
- ⑤ 光コネクタはフェルール同士が接触しない構造ですので、内部ファイバの端面が汚れ  
たり、疵が付いたりしません。

TQ8111  
白色光源  
取扱説明書

1.2 使用開始の前に

1.2 使用開始の前に

1.2.1 外観チェックおよび付属品の確認

TQ8111がお手元に届きましたら、輸送中における破損がないかを点検して下さい。本器の標準付属品としては、以下のものがあります。規格および数量を確認して下さい。もし、破損していたり仕様どおり動作しない場合は、弊社横浜営業所内CE本部フロントまたは最寄りの営業所まで連絡して下さい。

所在地および電話番号は、巻末に記載してあります。

表 1-1 標準付属品

品名	規格	数量	備考
電源ケーブル	MP-43A	1	
変換アダプタ	A09034	1	
ヒューズ	MDX-2A (DFT-AG2A)	2	AC100V仕様の場合
	MDX-1.25A (DFT-AG1R25A)	2	AC200V仕様の場合
ハロゲン・ランプ	NA55232 (NLP-000219)	1	
取扱説明書	J8111	1	

注：規格内の( )は当社部品コードを表わします。付属品を新たに発注される場合は部品コードもお知らせ下さい。

## 1.2.2 電源とヒューズ

付属の電源ケーブルのプラグは3ピンになっております。中央の丸いピンがアース・ピンです。3極のコンセントに接続しますと本器は接地されます。3極のコンセントに接続できない場合はこのプラグに3-2ピン変換アダプタ (A09034) を使用し、アダプタから出ているアース線 (〔図 1-1(a)〕) を、必ず大地に接地して下さい。

A09034は、〔図 1-1(b)〕に示すようにアダプタの2本の電極の幅A, Bが異なります。コンセントに差し込むときは、プラグとコンセントの方向を確認して接続して下さい。

A09034が使用できないときは別売のアダプタKPR-13をお求め下さい。KPR-13は2本の電極の幅A, Bが同じです。この場合、本器リア・パネルのアース端子から大地接地して下さい。

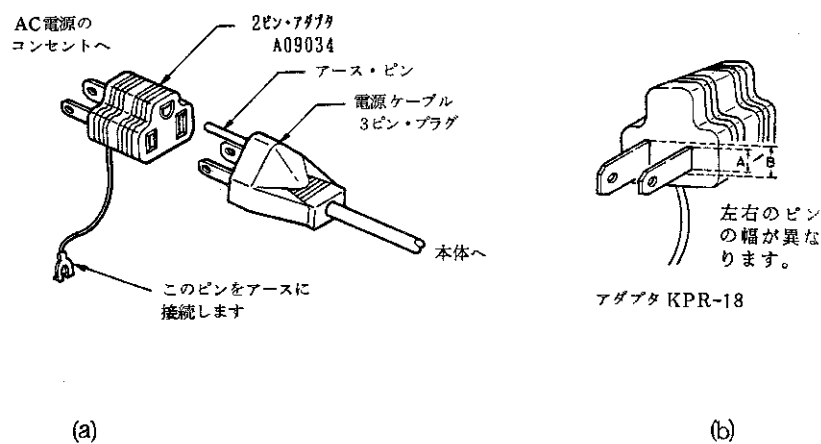


図 1-1 電源ケーブルのプラグとアダプタ

1. 2. 3 ヒューズの交換

(1) ヒューズの交換

ヒューズを交換する場合はAC LINE コネクタから電源ケーブルをはずしてから交換を行なって下さい。つぎに、AC LINE コネクタの右側のヒューズ・ボックスのプラスチック・カバーを左にスライドさせ、FUSE PULL レバーを手前に引きますとヒューズが取り外せます (図 1-2)。ヒューズは必ず [表 1-2] の規格のヒューズと交換して下さい。

表 1-2 電源ヒューズの規格

電 源	規 格
AC100V	MDX-2A
AC120V	(DFT-AG2A)
AC220V (230V)	MDX-1.25A
AC240V	(DFT-AG1R25A)

(注) なお、規格中の ( ) は当社部品コードを表わしています。ヒューズを注文される場合は、御手数ですが、当社部品コードもお知らせ下さい。

(2) 電圧設定カードの再設定

AC100V以外の電源電圧で使用する場合は、ヒューズ下のカードを再設定して下さい。ヒューズを取り外しますと、FUSE PULL レバーの下に100Vと書かれたカードが見えます。カードには100Vの他に120V、220V、240Vの設定電圧が書かれています。カードの向き、表裏を換えて使用する電圧がカードを差し込んだ状態で読み取れる向きに差し込んで下さい (図 1-2)。

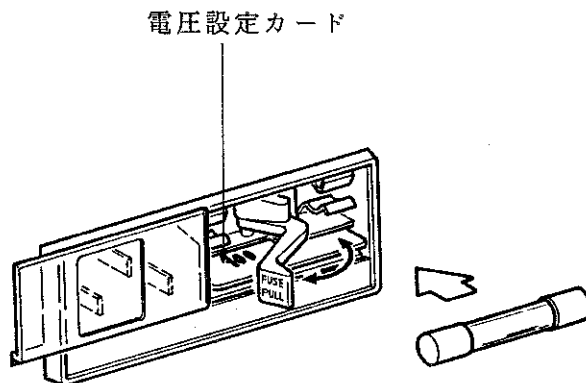


図 1 - 2 ヒューズの交換と電圧設定カード



#### 1. 2. 4 ハロゲン・ランプの交換

ランプの寿命は2000時間です。光出力が低下してきた場合は次の要領でランプを交換して下さい。

注 意

ヒューズの交換は必ず電源スイッチをOFFにし、電源ケーブルをコンセントから引き抜いた状態で行なって下さい。

直前まで使用した場合はランプは非常に高温となっています。10分以上放置し、冷やしてから交換を行って下さい。

- ① 上カバーのランプ交換用の蓋を止めているネジを外し、蓋を取り外します。
- ② ランプを静かに外します。
- ③ 交換するランプを指で直接持たず、紙などできくるみ、ソケットへ差し込みます。ランプのフィラメントがファイバの先端に向き合っていることを確認して下さい。
- ④ ランプ交換用の蓋を閉じて、POWER ONし、光が出力されることを確認して下さい。

ランプ取扱上の注意

ランプは直接指でさわりますと、手の油分などが付着し、表面に温度差が生じ、ガラスにひびが入ることがあります。ランプは汚さないように取扱って下さい。

ランプが汚れた場合はアルコールで表面の汚れを拭き取って下さい。また、ランプへの過大な衝撃は避けて下さい。

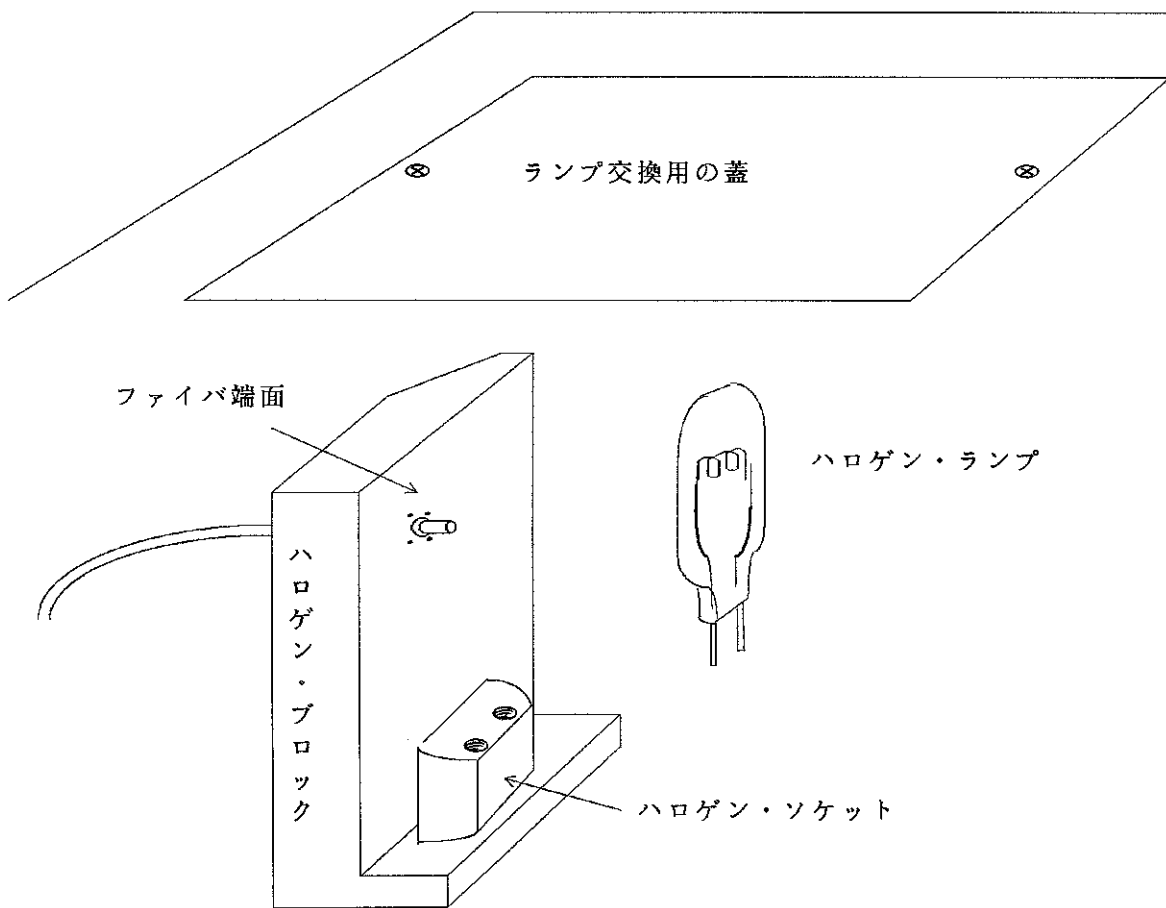


図 1-3 ランプの交換

## 1.3 使用前の準備および注意事項

- (1) 埃の多い場所や、直射日光、腐食性ガスの発生する場所での使用はさけて下さい。
- (2) 本器は内部の温度上昇をさけるため、冷却用ファンを使用しています。このファンは吐き出しタイプですので、周囲の通風には十分注意して下さい。特に、本器の背後に密着してものを置いたり、立てて使用しないで下さい。
- (3) 振動の多い場所での使用はさけて下さい。
- (4) 本器を長時間にわたって使用しない場合は、ビニールなどのカバーを被せるか、または段ボール箱に入れて下さい。
- (5) 本器は水平の状態でお使い下さい。また、不安定な台車の使用もさけて下さい。
- (6) 試料室に納めてある光学部品ホルダは、輸送時には金具（図 1-3）によって固定されていますので、金具を取り外して御使用下さい。金具は2本のネジを外すことで取り外せます。

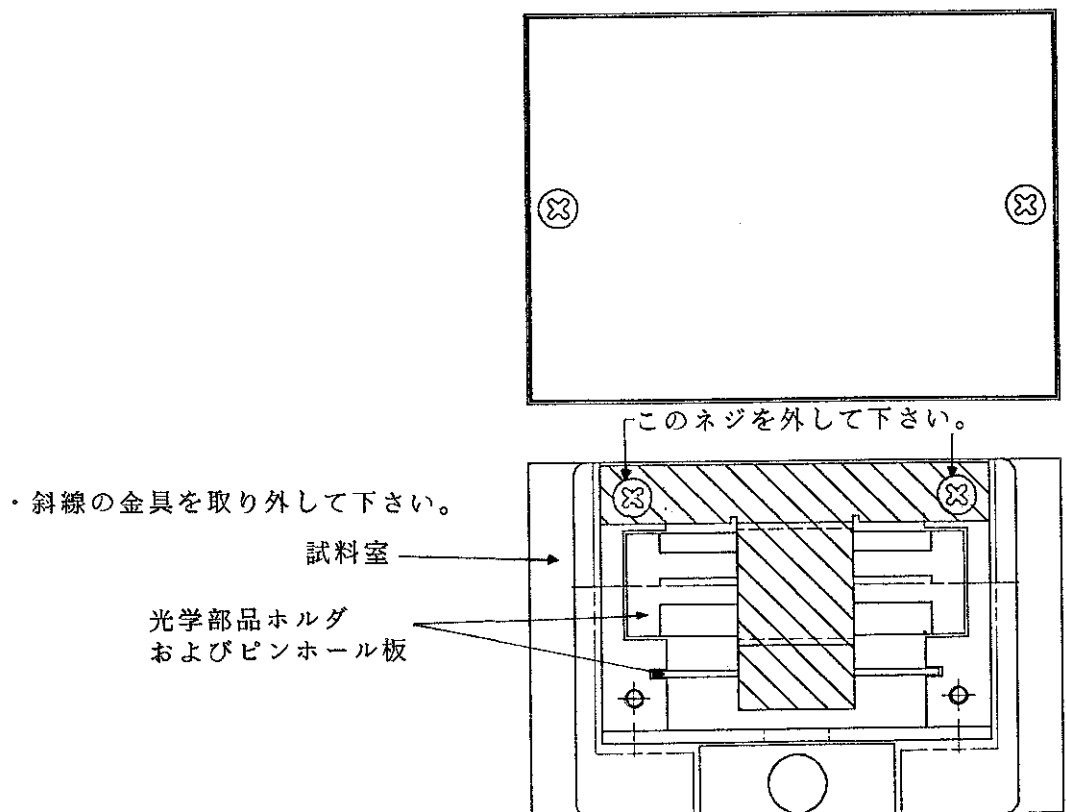


図 1-4 ホルダの脱着



## 2. 動作説明

## 2.1 動作原理

TQ8111は、ハロゲン・ランプの電源にスイッチング・レギュレータを使用し、光の一部を光検出器でモニタし、光→電圧変換を行ない、APC回路にフィードバックすることで光を安定化しています。

安定化された光はチャンネル1ではファイバによりパネル面まで導いています。また、チャンネル2では試料室を通りコリメータで集光し、ファイバを通してパネル面のコネクタに接続されます。

## 2.2 ブロック図

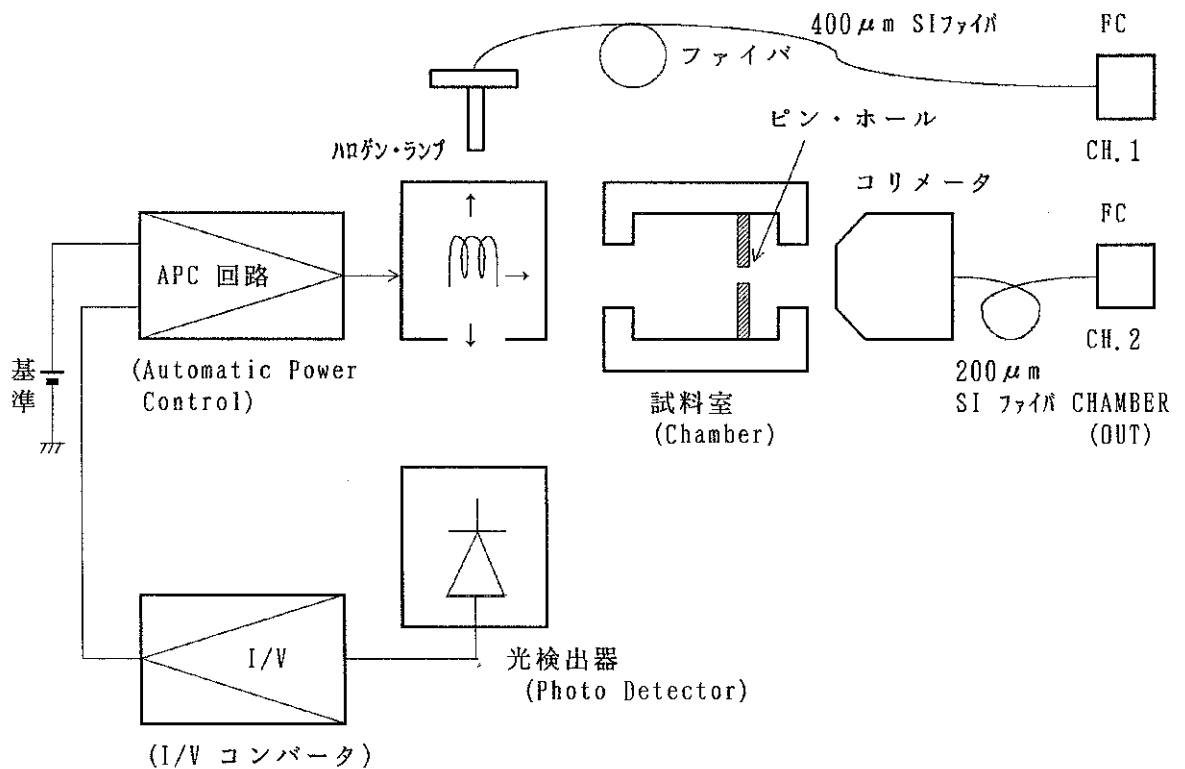


図 2-1 TQ8111ブロック図



TQ8111  
 白色光源  
 取扱説明書

3.1 パネル面の説明

3. 使用法

3.1 パネル面の説明

3.1.1 フロント・パネル

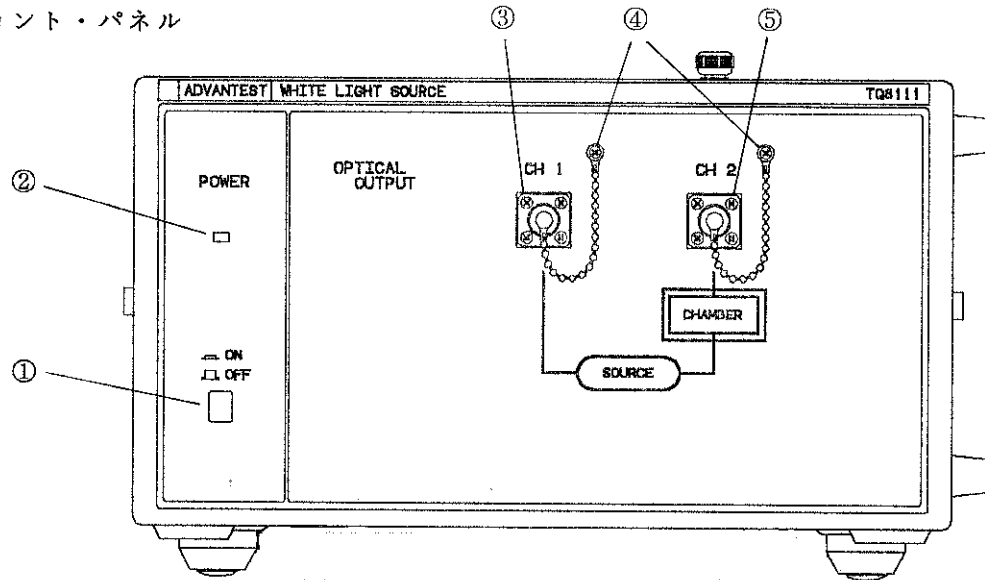


図 3-1 TQ8111フロント・パネル

- ① 電源スイッチ
- ② Power モニタ
- ③ チャンネル1, 光出力コネクタ
- ④ ダミー・キャップ
- ⑤ チャンネル2, Chamber Out( 試料室 )光出力コネクタ

3.1.2 リア・パネル

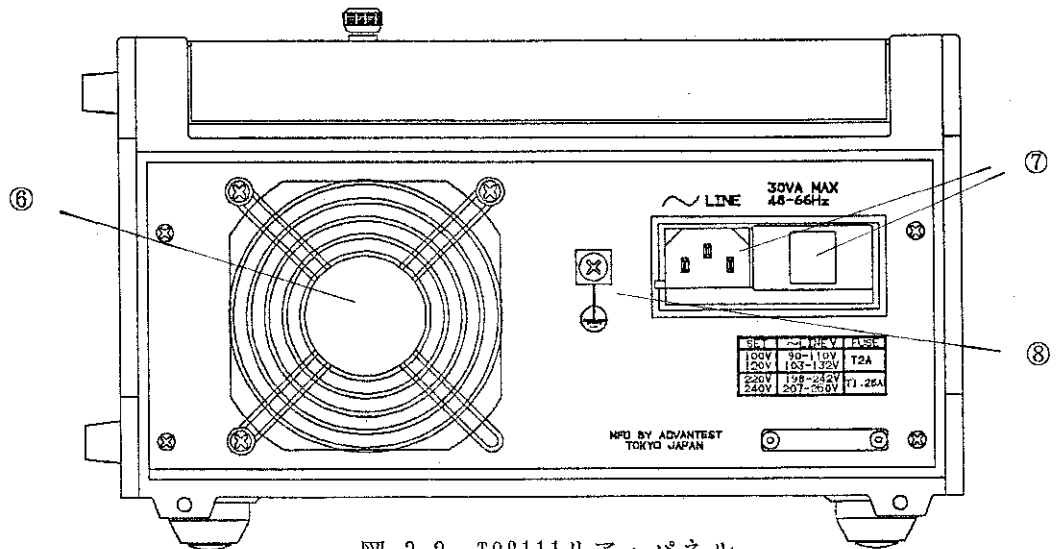


図 3-2 TQ8111リア・パネル

- ⑥ ファン・モータ
- ⑦ 電源コード接続コネクタおよびヒューズ・ボックス
- ⑧ アース端子

3.1.3 試料室 (Chamber)

上面図

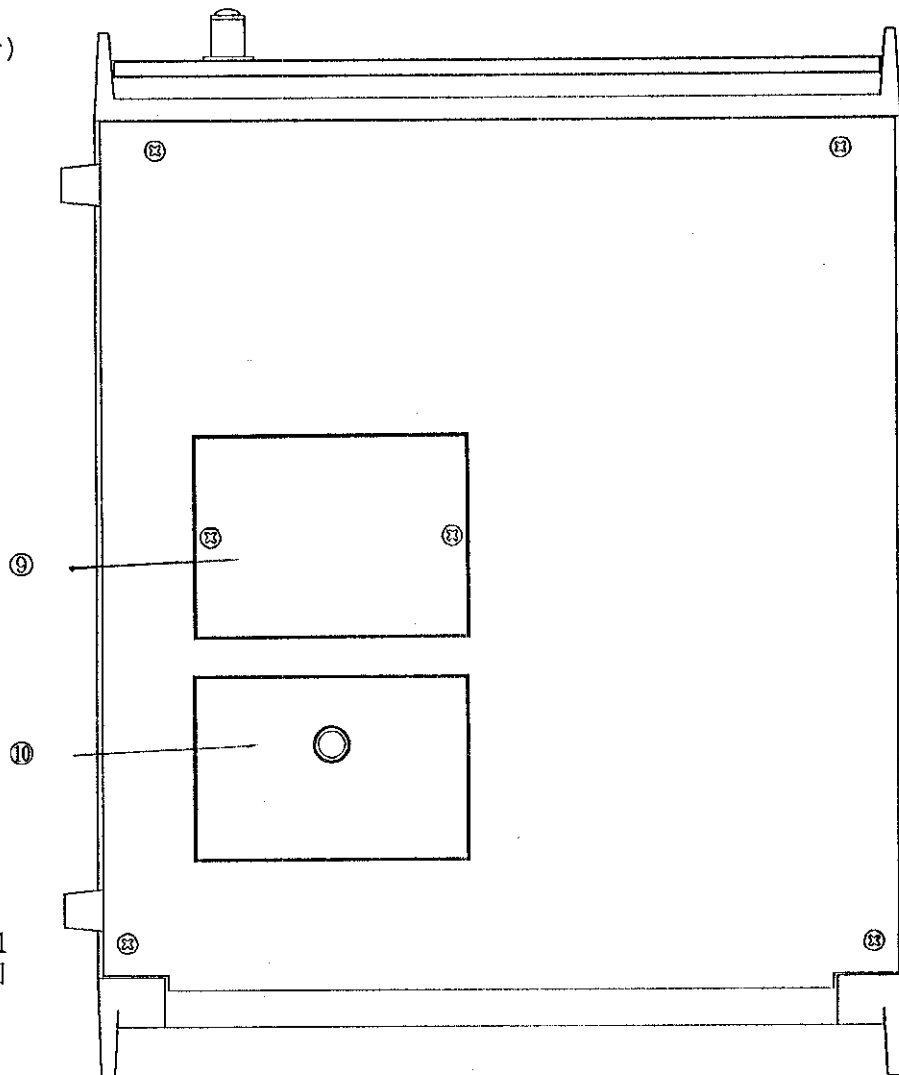


図 3-3 TQ8111  
 上面図

- ⑨ 試料室 (Chamber)  
 光学部品ホルダに光学部品をセットし、それを内蔵します。
- ⑩ ハロゲン・ランプ交換用蓋
- ⑪ ピン・ホール  
 2種の穴が開いていて、ホルダの光が通る穴と同じ大きさに合わせて使用します。
- ⑫⑫' 光学部品ホルダ (ホルダA, ホルダB)  
 光学部品を固定するために使用します。ホルダA, ホルダBが内蔵されており、光学部品を大きさに合わせて組み合わせて使用します。

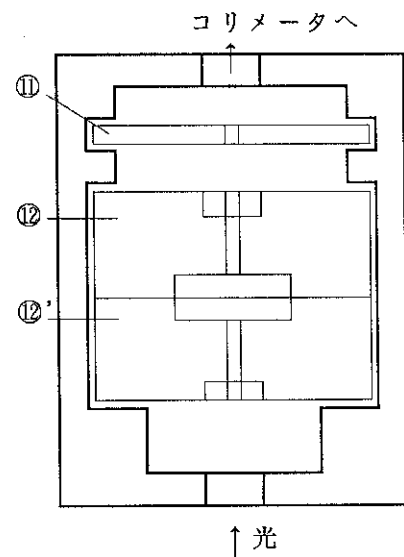


図 3-4 試料室の内部



## 3.2 使用法

目的によりチャンネル1,チャンネル2 を選択し、光コネクタにファイバを接続します。チャンネル1 は光ファイバの損失波長の測定に向いていて、SMファイバを接続しても十分な出力が得られますので光スペクトラム・アナライザTQ8345と併用して広ダイナミック・レンジの損失波長特性を測定することができます。

チャンネル 2は試料室を使用した損失波長測定に向いています。

## 3.3 試料室の使い方

試料室にはピンホール板1枚と光学部品ホルダ2種が入ります。ピンホール・ホルダA, Bには大小2つの穴が開いていて、光学部品の大きさ(径や厚み)により、上下、表裏を組み合わせてください。8通りの組合せができます。

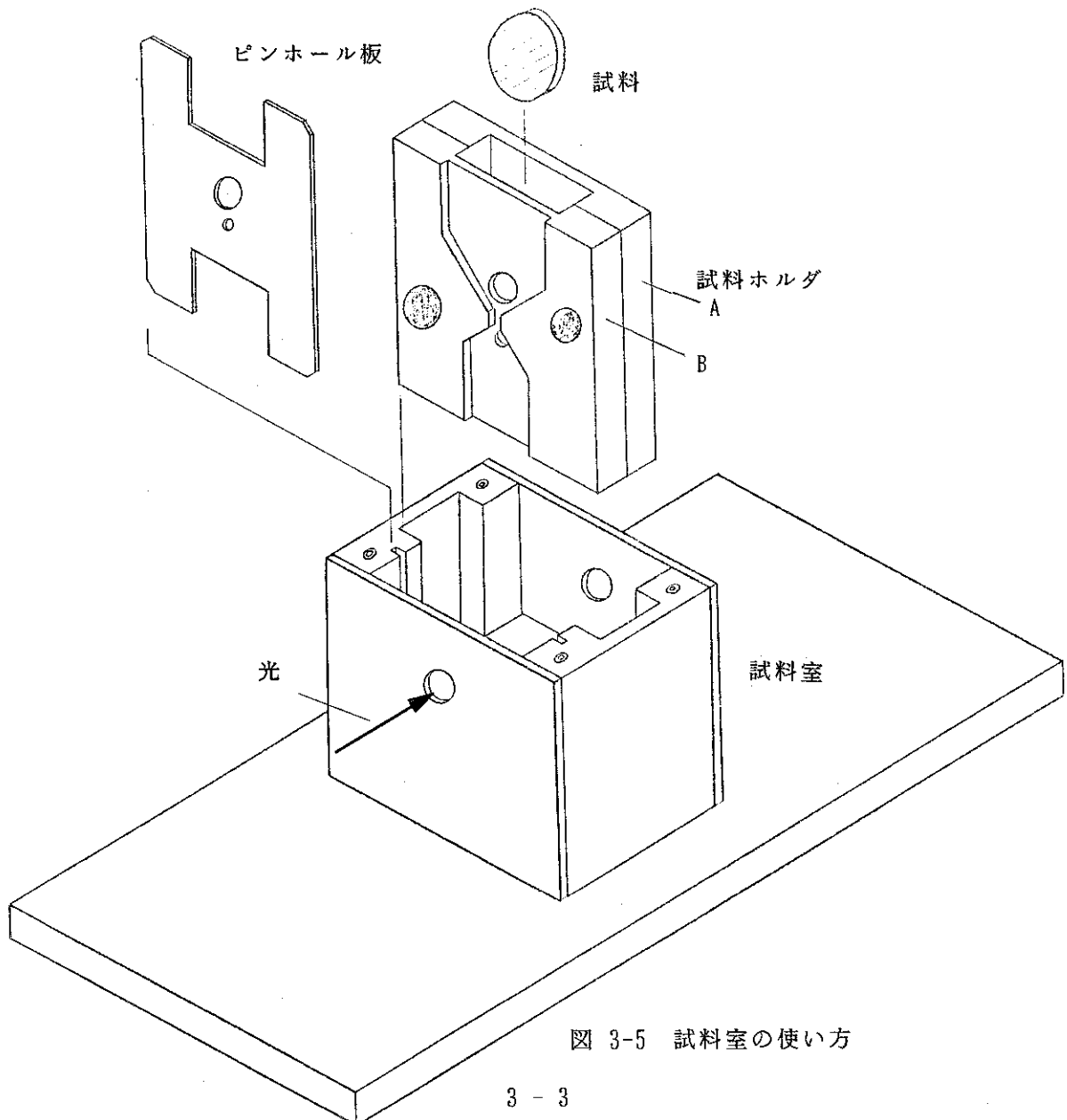
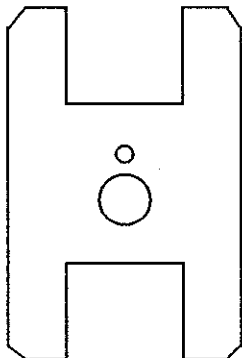


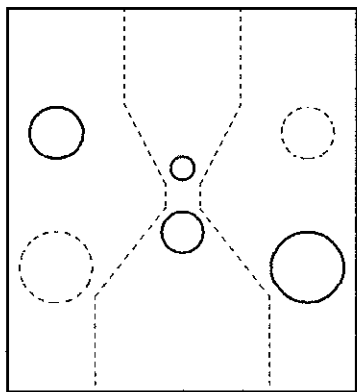
図 3-5 試料室の使い方

ピンホール板

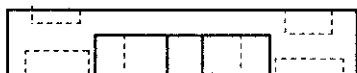


組合せ	幅
a 面～b 面	2mm
a 面～b' 面	4mm
a' 面～b 面	7mm
a' 面～b' 面	9mm

ホルダA a 面

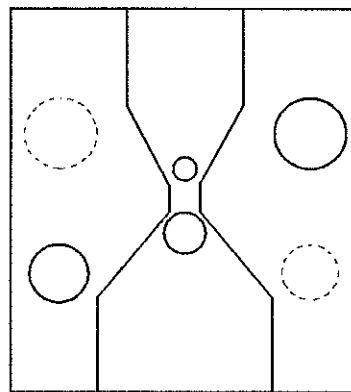


a



a'

ホルダB b 面

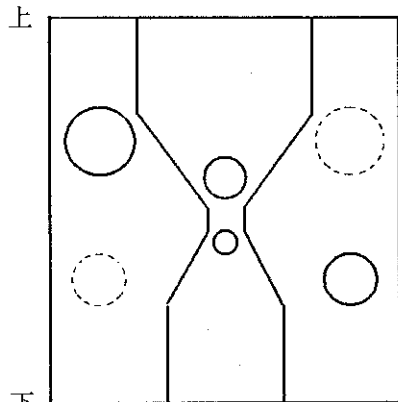


b



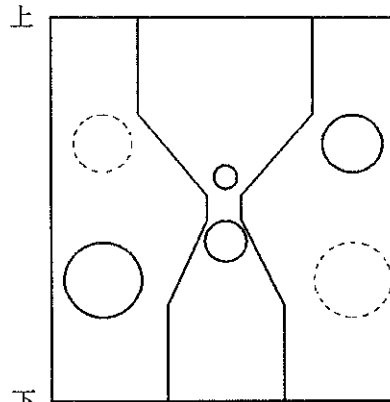
b'

ホルダA a' 面



下

ホルダB b' 面



下

図 3-6 ピンホール板とホルダ

## 4. 修理を依頼される前に

TQ8111を使用しているときに、万一、不具合が生じた場合は、必ず下記の点検事項を確認した後に、弊社横浜営業所内CE本部フロントまたは最寄りの営業所・出張所まで連絡して下さい。所在地および電話番号は、巻末に記載してあります。下記の確認事項の範囲内での修理内容の場合でも、当社扱いのときは、修理代金を請求することになりますので、修理を依頼される前に取扱説明書と、この確認事項に基づいて点検して下さい。

症 状	原 因	処 理
POWER インジケータが点灯しない。	電源ヒューズの熔断	付属のヒューズと交換
光出力が出ない。 (POWERインジケータは点灯)	1. ハロゲン・ランプが切れている。	付属のハロゲン・ランプと交換します。1.2.4 参照
	2. 接続のファイバ・ケーブルの断線。	光ファイバ・ケーブルを交換して下さい。
	3. 使用温度以上の場所で使用した。(保護回路が働き、ハロゲン・ランプを消灯させます。)	POWER OFF にして、しばらく放置、冷却しますと、復帰します。
	4. 使用電圧範囲外で使用した場合。 入力電圧が低いと、POWER インジケータが点灯しても、ハロゲンが消える場合があります。	リア・パネルの電圧設定カードの値と、入力電圧を確認して下さい。 パワー・インジケータが消灯している事を確認してから再びPOWER ONして下さい。
光出力が小さい。	1. ハロゲン・ランプが劣化している。	付属のハロゲン・ランプに交換します。1.2.4 参照
	2. 光コネクタ端面の汚れ	コネクタを清掃して下さい。
	3. ハロゲン・ランプの光軸のずれ。(保護回路が働き、ハロゲン・ランプを消灯させます。)	電源を切り、ランプが冷えてからハロゲン・ランプの位置を確認し、調整して下さい。(注)
	4. CHAMBER OUT CH. 2の場合、ピンホールの穴の大きさと光学部品ホルダの大きさが合わない。	A, B ホルダとピンホール板の穴の大きさを同じにして下さい。

注：ハロゲン・ランプを点灯させたままの調整はしないで下さい。

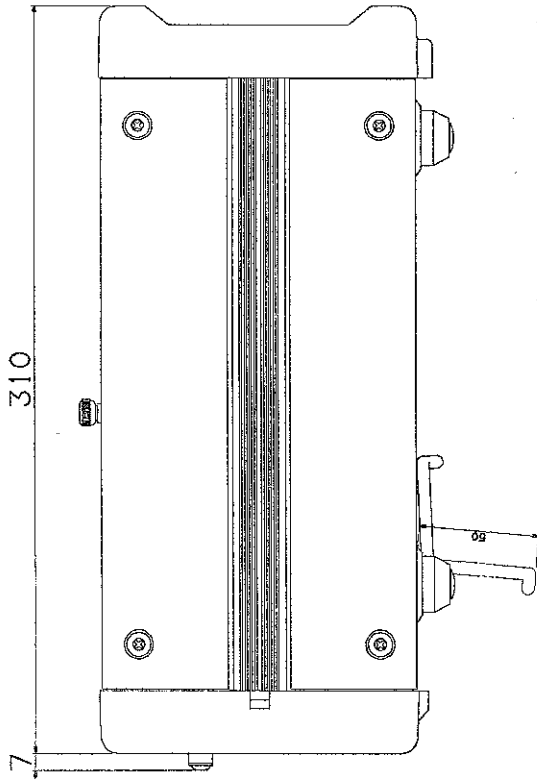


## 5. 性能諸元

## 5.1 規格

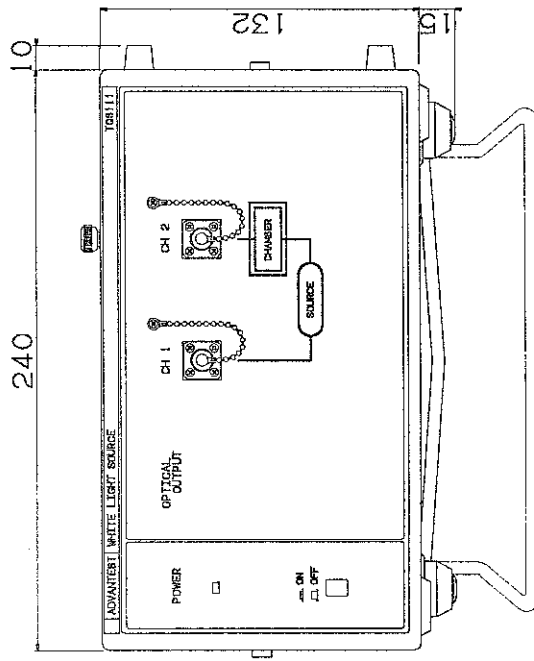
項 目	規 格			
発 光 源	ハロゲン・ランプ 50W			
波 長 範 囲	0.4 $\mu\text{m}$ ~ 1.7 $\mu\text{m}$ 以上			
光 出 力 安 定 度	$\pm 0.05\text{dB}$ (+23 $^{\circ}\text{C}$ $\pm 1^{\circ}\text{C}$ )			
光 出 力 条 件	GIファイバ (50/125 NA. 0.2) を2m使用時			
CH.1	-43dBm/10nm 以上 (0.85 $\mu\text{m}$ および 1.3 $\mu\text{m}$ ) (-23dBm/ $\mu\text{m}$ )			
CH.2	-50dBm/10nm 以上 (0.85 $\mu\text{m}$ および 1.3 $\mu\text{m}$ ) (-30dBm/ $\mu\text{m}$ )			
使 用 環 境 範 囲	周囲温度 0 $^{\circ}\text{C}$ ~ 40 $^{\circ}\text{C}$ , 相対湿度 85%以下			
電 源	注文時の御指定によります。			
オ プ シ ョ ン No	標 準	32	42	44
電 源 電 圧	90 ~ 110V	108 ~ 132V	198 ~ 242V	216 ~ 250V
重 量	9 kg 以下			
外 形 寸 法	約240 (幅) $\times$ 132 (高) $\times$ 310 (奥行) mm			



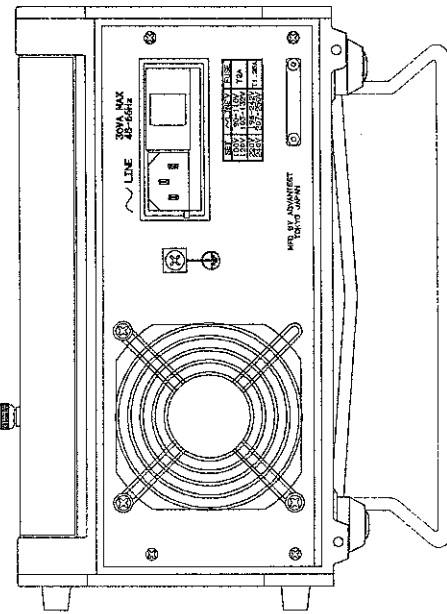


**SIDE VIEW**

**T08111  
EXTERNAL VIEW**



**FRONT VIEW**



**REAR VIEW**





## 本製品に含まれるソフトウェアのご使用について

本製品に含まれるソフトウェア（以下本ソフトウェア）のご使用について以下のことにご注意下さい。

ここでいうソフトウェアには、本製品に含まれる又は共に使用されるコンピュータ・プログラム、将来弊社よりお客様に提供されることのある追加、変更、修正プログラムおよびアップデート版のコンピュータ・プログラム、ならびに本製品に関する取扱説明書等の付随資料を含みます。

### 使用許諾

本ソフトウェアの著作権を含む一切の権利は弊社に帰属いたします。

弊社は、本ソフトウェアを本製品上または本製品とともに使用する限りにおいて、お客様に使用を許諾するものといたします。

### 禁止事項

お客様は、本ソフトウェアのご使用に際し以下の事項は行わないで下さい。

- 本製品使用目的以外で使用すること
- 許可なく複製、修正、改変を行うこと
- リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルなどを行うこと

### 免 責

お客様が、本製品を通常の用法以外の用法で使用したことにより本製品に不具合が発生した場合、およびお客様と第三者との間で著作権等に関する紛争が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

# 保証について

製品の保証期間は、お客様と別段の取り決めがある場合または当社が特に指定した場合を除き、製品の納入日(システム機器については検取日)から1年間といたします。保証期間中に、当社の責めに帰する製造上の欠陥により製品が故障した場合、無償で修理いたします。ただし、下記に該当する場合は、保証期間中であっても保証の対象から除外させていただきます。

- 当社が認めていない改造または修理を行った場合
- 支給品等当社指定品以外の部品を使用した場合
- 取扱説明書に記載する使用条件を超えて製品を使用した場合(定められた許容範囲を超える物理的ストレスまたは電流電圧がかかった場合など)
- 通常想定される使用環境以外で製品を使用した場合(腐食性の強いガス、塵埃の多い環境等による電気回路の腐食、部品の劣化が早められた場合など)
- 取扱説明書または各種製品マニュアルの指示事項に従わずに使用された場合
- 不注意または不当な取扱により不具合が生じた場合
- お客様のご指示に起因する場合
- 消耗品や消耗材料に基づく場合
- 火災、天変地異等の不可抗力による場合
- 日本国外に持出された場合
- 製品を使用できなかったことによる損失および逸失利益

当社の製品の保証は、本取扱説明書に記載する内容に限られるものとします。

## 保守に関するお問い合わせについて

長期間にわたる信頼性の保証、国家標準とのトレーサビリティを実現するためにアドバンテスタでは、工場から出荷された製品の保守に対し、カスタマ・エンジニアを配置しています。

カスタマ・エンジニアは、故障などの不慮の事故は元より、製品の長期間にわたる性能の保証活動にフィールド・エンジニアとしても活動しています。

万一、動作不良などの故障が発生した場合には、当社のMS(計測器)コールセンターにご連絡下さい。

## 製品修理サービス

- **製品修理期間**  
製品の修理サービス期間は、製品の納入後10年間とさせていただきます。
- **製品修理活動**  
当社の製品に故障が発生した場合、当社に送っていただく引取り修理、または当社技術員が現地に出張しての出張修理にて対応いたします。

## 製品校正サービス

- **校正サービス**  
ご使用中の製品に対し、品質および信頼性の維持を図ることを目的に行うもので、校正後の製品には校正ラベルを貼付けし、品質を保証いたします。
- **校正サービス活動**  
校正サービス活動は、株式会社アドバンテスタ カスタマサポートに送っていただく引取り校正、または当社技術員が現地に出張しての出張校正にて対応いたします。

## 予防保守のおすすめ

製品にはエレクトロニクス部品およびメカニカル部品の一部に寿命を考慮すべき部品を使用しているため、定期的な交換を必要とします。適正な交換期間を過ぎて使用し発生した障害に対しては、修理および性能の保証ができません場合があります。

アドバンテスタでは、このようなトラブルを未然に防ぐため、予防保守が有効な手段と考え、予防保守作業を実施する体制を整えています。

各種の予防保守を定期的実施することで、製品の安定稼働を図り、不意の費用発生を防ぐため、年間保守契約による予防保守の実施をお勧めいたします。

なお、年間保守契約は、製品、使用状況および使用環境により内容が変わりますので、最寄りの弊社営業支店にお問い合わせ下さい。

# ADVANTEST

<http://www.advantest.co.jp>

## 株式会社アドバンテスタ

本社事務所  
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング  
TEL: 03-3214-7500 (代)

第4アカウント販売部(東日本)  
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング  
TEL: 0120-988-971  
FAX: 0120-988-973

第4アカウント販売部(西日本)  
〒564-0062 吹田市垂水町3-34-1  
TEL: 0120-638-557  
FAX: 0120-638-568

### ★計測器に関するお問い合わせ先

(製品の仕様、取扱い、修理・校正等計測器関連全般)

MS(計測器)コールセンター ☎ TEL 0120-919-570  
FAX 0120-057-508

E-mail: [icc@acs.advantest.co.jp](mailto:icc@acs.advantest.co.jp)